ヒノキのはがき

西川材ヒノキの間伐材を使った木のはがきを使って、名栗の思い出を描いた手紙を作りましょう。ここでの思い出を書いて郵送することができます。

対象	実施時期	定員	所要時間
３歳以上	通年	５～１５０人	１時間

利用者持ち物	プラザ貸し出し備品	材料
切手（投函希望の方のみ）110 円 ※定型内郵便(50g 以内)の切手 （木のはがき 1 枚は約 30g）	カラーペン・スタンプ・スタンプ台・ゴミ用バケツ	板・紙やすり

ねらい

・想像力や表現力を高める。
・西川材間伐材の活用。
・名栗の自然物を使った思い出の作品を作る。

実施の流れ

打ち合わせ・説明

◆開始 15 分前に、当所職員と団体代表者の打ち合わせを行います。
◆その後、全体への説明は当所職員が行います。

以降は、各団体で進行してください。

準備（１作業台　２～３人程度）

①　作業台（丸太イス）を準備します。
②　ヒノキの板・紙やすりを配布します。カラーペンは各グループで使えるように置きます。

実施

①　ヒノキの板の切り口のささくれを紙やすりを使ってけずります。
②　カラーペンやスタンプなどで文字や絵を描きます。
※切手を貼って投函。（切手は持参）

片付け

①　道具類は所定の場所に戻します。
②　使用した作業台を元あった場所に戻します。
③　下に落ちた木くずやゴミを掃除します。ゴミは職員が用意したゴミ用バケツにまとめてください。
　※片付けが終了したタイミングで、使用した場所の確認、作成した個数の確認を書面にて当所職員が行いますので、事務室へお声がけください。

まとめ

・作品を披露し合いましょう。

・ふりかえり。

留意点

・ささくれ部分を削る際のけがに注意しましょう。
・はがきに記入した住所が読めるか、団体指導者の方が必ずチェックしてください。
・名栗近隣の郵便局から投函することができます。ご希望の場合は窓口にお声かけください。
・必ず職員と出した枚数と切手が貼ってあるかを確認してください。

SDGs への取組

・国産間伐材を使うことで、森の豊かさへの貢献ができます。
・自分で作ったクラフトに愛着を持つことで、モノを大切にする気持ちを育めます。